

防災関連の活動をする団体に向けての防災力アップ事業

【事業実施主体】

特定非営利活動法人
浜松男女共同参画推進協会

【連携団体】

浜松市自治会連合会、浜松市

【目的】

地域において自主防災活動や防災関連の活動をする団体を中心に、地域の人々に向けて男女共同参画の視点を伴った防災知識や対策を備えるための出前講座を実施することによって、地域における共助の力を高め防災力の向上に資する。

【主な取組】

当団体に所属し男女共同参画の視点からの防災についての研鑽を積んでいる、会員有志で構成される「防災研究会」が、自主防災組織や防災関連の活動をする各種団体に向けて出前講座を実施した。

講座の内容は、当団体も参画して作成した「男女共同参画の視点からの防災手引書ダイジェスト版～男女が共に支え合う防災体制づくりに向けて～」を柱とした。また、防災グッズの作り方や非常食のポイントなど、受講者のニーズに合わせたものも含めた。

事業実施概要

【実施件数】

浜松市危機管理監危機管理課の了承の下に、浜松市自主防災隊長811名に出前講座の案内を送付したところ57件の問合せがあった。主に12月7日(日)の地域防災の日に開催する防災訓練への依頼が多かったため、日程調整で実施が可能となった10団体へ出前講座を実施した。

【対象】

自治会の地域住民の皆様(自主防災隊の皆様、自治会役員の皆様、町民の皆様、防災に関連する活動団体の皆様、こども会・シニアクラブなど各種団体の皆様)

【内容】

講話及び簡単なワーク(参加者による手作業または講師による実演)

- ①なぜ防災に男女双方の視点が必要なのか。
- ②地域防災において私たちは何をすればよいのか。女性の参画を進める、男女や多様な人々の力を集めた防災訓練をしておく。避難所の運営にも男女双方の視点を取り入れる、等
- ③身近な材料で防災グッズを作ろう



事業効果

男女共同参画の視点からの防災を学ぶことで、地域の絆が深まり、防災組織の充実につながった。また、防災以外の地域活動にも男女共同参画の視点が広がったといえる。
今後、地域の自主防災組織に参画する女性が増え、地域の活動団体による防災活動が地域防災において一定の地位を占めることが期待される。

今後の課題

地域によっては男性のみで防災組織が組まれているところがある。そうした防災組織に向けての啓発には、男性が強く共感する内容を伝えていく必要がある。対象に合わせて講座内容を一層工夫して、男女共同参画の視点からの防災の重要性を、確実に伝えていきたい。